

NO	対象ページ	箇所	意見	回答
1	全体	—	「第三次御前崎市総合計画策定に関する一般・中高生アンケート調査報告書」のまとめだけで、結果の分析ができていないように思われる。ただ、まとめた内容の表示のみ。それぞれの関係関連部署では帰庁なデータであり、「基本計画」に反映されているか、見直しが必要では。	アンケート結果については、現況整理と合わせて分析しています。各課がアンケート結果を考慮したうえで基本計画の内容を作成しています。
2	全体	—	「取り組みの成果と課題」については、必要に応じた数値表示を行い、結果の導きに繋げて流れを「見える化」で分かりやすくする。職員の業務内容を市民にアピールする。	取り組みの成果と課題については、毎年施策評価シートを作成し、事業の進捗確認や評価を行っております。なお、数値目標の見える化についても、先述した施策評価シートを御前崎市のHPにて公開しています。今後は、分かりやすく伝えられるよう検討したいと思います。
3	全体	—	「まちづくりの指標」については、2025現状/2029目標のみの表示であり、100%達成の見通しがわからない。現状とこれからの目標達成までのプロセスが不透明で数値化したグラフなどを活用して理解を求める必要があるのでは。業務の数値化を極力推進して、誰が見ても流れが分かるようにする。職員の実施計画をアピールする。	まちづくりの指標につきましては、4年後の目標値であり、その取り組みにつきましては別冊の実施計画書にまとめております。その結果について、グラフ化するなど「分かりやすい表現」について検討したいと思います。
4	全体	—	顧客（市民）満足を与えるために、常にその業務のお客様は誰かを明確に理解する。業務の標準化	各担当課で実施する事業や業務につきましては、「何のために」何をおこなうのか意識して取り組んでおります。その際、「何のために」の部分では、「誰のために」が含まれています。今後、より一層、意識するよう心がけてまいります。
5	全体	—	御前崎市の市政の内容を理解してもらう工夫で、中学校や高校の授業でも扱って、この計画を若人へも展開できれば、少しは市政の活性化に繋がるのではないのでしょうか。	若人への展開について、非常に重要と考えております。総合計画概要版などを活用し、広報に努めてまいります。
6	全体	—	目が不自由な人向けの点字での作成や、音声データの作成が意識されていますか。	現在、点字及び音声データの作成はしておりません。検討材料とさせていただきます。
7	全体	—	ワードやエクセル活用で作成されていると思いますが、極力、簡素簡潔に表現願います。	分かりやすい基本計画となるよう、デザインなどの工夫について検討いたします。
8	全体	第3次総合計画策定に関するアンケート（令和6年3月）のチラシには「地域のWell-Beingの向上にあたり、共通の指標（LWC指標）を利用することで・・・（中略）・・・御前崎市では、この指標を活用して・・・（後略）」とある。【別途参照】【別途参照】	地域幸福度への取り組みが感じられない。第1編から第3編を通じて、どこにも（LWC指標）が出てこない。市民の現状の分野別幸福実感に対して、総合計画を推進することでどのように向上し、その市民目標の評価をどのように把握するつもりか。全体像の見える化が求められる。	市民のWell-Being向上は重要と考えておりますが、LWC指標では、3つの領域に分類され、さらに全体として5つの指標、56因子で構成されています。検討した結果、すべての項目でアンケートを実施することが難しいため、市民意識調査として、評価を把握することとしました。今後も国や他市町の動向に注視し活用方法を検討してまいります。

NO	対象ページ	箇所	意見	回答
9	全体	まちづくりの指標	「まちづくりの指標」は毎年度の見直しの指標となるので年度毎の目標指標を設定するのがよい。主観的な指標をデジタル化しているが、その算出根拠を明確にすべきである。第2次総合計画後期基本計画のように、資料編にも「指標一覧」としてまとめて掲載して欲しい。	巻末への資料一覧の掲載について、掲載する方向で検討いたします。
10	P91～98	第4章 用語解説	解説が必要な用語は当該ページの下部で解説（デジタル田園都市国家構想総合戦略2023改訂版などが参考になる）した方が読みやすい。まとめた「用語解説」は各編に設けるのか。	用語解説については、一覧で確認できるよう、巻末にまとめて掲載する予定です。
11	P3～15	第2章重点プロジェクト	[第1編] 序論P4では重点プロジェクトは[第4編]としているが、[第3編] 基本計画に入っている。構成を変えたのか。	基本計画を作成する過程において構成を変更しました。理由としては、重点プロジェクトは4年間の取組みを位置づける基本計画（前期）の中で、分野横断的かつ優先して取り組むべき事項としているためです。
12	P3	「デジタル田園都市国家構想総合戦略」・・・社会課題解決〇〇〇〇「地方創生2.0基本構想」広域リージョン構想	〇〇〇〇に「魅力向上」が抜けている。「構想」ではなく「連携」である。	内容を確認のうえ、修正いたします。
13	P5	取組み1事業1英語・英会話教育の実施	関連施策が6-(1)-①-1「スクラム・スクール運営協議会を・・・」となっているが、どのように関連しているのか。	地域が学校の教育活動に参画する過程においても、英語・英会話教育を意識するといった意味合いから、関連施策として位置づけています。
14	P5	取組み2事業1進学・留学の支援	関連施策が7-(4)-②-1「多文化共生のまちづくり・・・」となっているが、どのように関連しているのか。	進学・留学の支援について、多文化共生や国際交流の推進が、留学意識の向上に寄与すると考えられることから、関連施策として位置づけています。
15	P5・6・9・10・13・14	関連施策	重点プロジェクト(1)～(3)の関連施策の数を基本目標別に集計してみると、基本目標1-8、2-1、3-7、4-13、5-43、6-14、7-31となっている。意図的か、バランスが取れていない。また、主な具体的事業に対する関連施策として適切かも精査・確認して欲しい。	重点プロジェクトは4年間の取組みを位置づける基本計画（前期）の中で、分野横断的かつ優先して取り組むべき事項であるため、関連する施策について、基本目標とのバランスは考慮していません。
16	P12	産官学金の連携	「金」は何を指すのか。	「金」とは「金融機関」を示します。また、「産官学金の連携」を用語解説に追加します。
17	P13	広域交通へのアクセス性	どのような立地特性があるのか。	広域アクセスに寄与している金谷御前崎連絡道路や御前崎港の存在を立地特性としてとらえています。
18	P20・21	施策体系	第2次総合計画と同様に「施策評価シート」と「実施計画書」の公表を求める。	第2次総合計画と同様に公表を予定しています。
19	P23	基本目標1	基本構想 P18の基本目標(1)にある「避難路整備や防災訓練などハード、ソフト対策による公助を推進する」はどこに入るか。	避難道路については、基本目標3-(3)に含まれ、防災訓練については、基本目標1-(1)に含まれます。

NO	対象ページ	箇所	意見	回答
20	P31	基本目標2	基本構想 P18の基本目標 (2)にある「再生可能エネルギーの導入による地球温暖化防止対策」はどこに入るか。	地球温暖化防止対策に資する事業であることから「基本目標2」として記載してありますが、エネルギー関連の政策施策は基本目標7-(5)でまとめています。
21	P39	基本目標3	「政策(3)災害から市民を守る河川水路の実現」は、基本目標1に入れるのが適切である。	基本目標1は防災対策カテゴリーであり、基本目標3は、災害に強だけでなく、市民生活の向上に資するハード面からの整備を実現するため、基本目標3へ位置づけています。
22	P49	基本目標4	基本構想 P18の基本目標 (4)にある「地域課題を解決できる仕組みづくりを推進する」はどこに入るか。	「地域課題を解決できる仕組みづくりを推進する」ために、基本目標4の(1)~(5)の政策と各施策を位置づけています。
23	P61	基本目標5	基本構想 P19の基本目標 (5)にある「交流人口の拡大による賑わいの創出」はどこに入るか。	基本目標5-(1)および(3)に位置づけています。
24	P69	基本目標6	基本構想 P19の基本目標(6)にある「世界に通じる人を育む」はどこに入るか。	「世界に通じる人を育む」という考え方の基、基本目標6-(1),(2),(3)を推進していきます。
25	P79	基本目標7	基本構想 P19の基本目標 (7)にある「財源の適切な確保」は重要なことであるが、どこに入るか。	基本目標7-(2)に位置付けています。 主な取組み「①-1)計画的な財政運営を図ります」の中に、財源の適切な確保も含まれます。
26	P58	経営の健全化 健全な病院経営	総合病院第4期中長期計画書に基づく具体化な施策・主な取組みの記述が欲しい。	総合病院第4期中長期計画については、現在の経営状況に合わせて変更をしていく予定となっていますので、後期総合計画に変更後の計画に沿った具体的な施策等を記述させていただきます。
27	P70	«これまでの取組み»市スクラム・スクール運営協議会	«今後の課題»学校スクラム・スクール運営協議会のスタートとコロナ禍に入り、市スクラム・スクール運営協議会の活動が希薄になっている。御前崎市独自の活動で意義があるので、以前のように各園・各学校各年代で課題や取組みを共有して活動して欲しい。	学校スクラム・スクール運営協議会について、各園・各学校各年代で課題や取組みの共有に努めてまいります。
28	P72	«今後の課題»2024年度以降	「2024年度以降」は過年度で、「2026年度以降」とするのが適切である。	2026年以降に修正いたします。

NO	対象ページ	箇所	意見	回答
29	P73	施策②資質・能力	<p>「資質・能力」とは具体的に何を指しているか。御前崎市の長年の課題である児童生徒（特に児童）の学力向上は含まれるか。学力だけではないとおっしゃる方がいるが、だけではないものを身に着けるにはベースとなる学力が必要である。是非、《主な取組み》に入れて、まちづくりの指標も設定して欲しい。第2次総合計画後期基本計画の令和6年度施策評価シートによると標準学力調査の結果は目標値に達していない。</p>	<p>「資質・能力」について、文部科学省のHPでは、以下の様に記されています。</p> <p>児童生徒の発達の段階や特性等を踏まえ、「知識及び技能」の習得と、「思考力、判断力、表現力等」の育成、「学びに向かう力、人間性等」の涵養という、資質・能力の三つの柱の育成がバランスよく実現できるよう留意することを以下のとおり示しています。</p> <p>（略）その際、児童（生徒）の発達の段階や特性等を踏まえつつ、次に掲げることが偏りなく実現できるようにするものとする。</p> <p>(1) 知識及び技能が習得されるようにすること。 (2) 思考力、判断力、表現力等を育成すること。 (3) 学びに向かう力、人間性等を涵養すること。</p> <p>上記を踏まえ、必要と考える主な取組みを記載しています。</p>
30	P83	まちづくりの指標	<p>②実質公債費比率と③将来負担比率は急激な変化を予想されているからこそ、毎年度の目標指標が必要である。</p>	<p>目標指標として類似団体内中央値以内を目標値と設定しています。目標指標値に急激な変化がある場合は、実施計画の施策に対する成果指標の変更を検討します。</p>